のとちょう議会だより

発行：能登町議会　発行日：平成 24 年 8 月 1 日　編集：能登町議会広報編集特別委員会

「恋路火祭り」撮影日平成 24 年 7 月 15 日（日）

６月議会の内容

●一般質問Ｐ２－３　●視察研修リポートＰ４－５
●議案質疑Ｐ６　●常任委員会レポートＰ７

平成２４年第２回能登町議会定例会は、６月６日から１４日までの９日間の日程で開催されました。

６日には、報告１１件、議案１２件、諮問１件、請願２件、陳情１件が上程され、先議された諮問１件は原案のとおり適任とされました。その後、議案質疑を経て各常任委員会へ付託されました。１１日には町政一般質問が行われました。１４日には、採決が行われ、報告１１件、議案１２件、請願１件、陳情１件を原案のとおり、承認・可決・採択とし、請願第３号「文化施設の建設について」１件が継続審査とされました。続いて、発委第３号「国の教育予算拡充を求める意見書の提出について」など議会議案２件が 追加提出され、質疑・討論を省略し原案のとおり可決されました。

第29号

いっぱん質問

椿原安弘　議員

問 自治体クラウド導入をどう考えるか

自治体クラウドとは、地方自治体の情報システムをデータセンターに移し、複数の自治体がシステム運用を共同で使うことが出来る環境を作る取組で総務省が開発実証事業を推進している。導入すればシステム運用経費や業務負担の節減になるが早期に検討すべきでは。

答 基幹系システムの課題がクリアできれば検討する

町長　導入すれば多額のコストをかけずにＩＴインフラを構築する利点がある。課題がクリアされ、導入市町が増え、経費節減の状況になれば導入を検討したいと考える。

問 認知症支援対策

高齢者が生まれ育った地域で自立して元気で暮らせることが何より幸せであり、高齢期をどのように過ごすかは住民や社会にとって大きな課題である。認知症支援対策は。

国が進めている「認知症サポーター」が当町は少ないのではないか。

答 見守り応援隊の構築や傾聴ボランティア養成を行なう

町長　認知症高齢者の見守りを強化するため見守りひまわりネットワークの構築や高齢者を訪問し、話相手になる傾聴ボランティアなどの養成を行なっている。また、認知症高齢者の状況把握も行なっている。

サポーターが少ないのは、既存の組織を活かした支援、支えあいの仕組みを優先した結果であるので、少ないから支援が劣っていることではない。

志幸松栄　議員

問 町内の国・県の行政機関について

能登町の国・県行政機関存続並びに今後の機関の誘致問題を問いたい。

答 国・県にしっかりと働きかけていきたい

町長　国・県における行財政改革により、簡素で効率的な行政組織への取組ということは国民、県民の皆さんが求めていることであろうと思っているが、少子高齢化・過疎化が進む当町では、町民への行政サービスが後退しないよう町の活力低下を防ぐ意味で、行政機関再編にあたり、国・県にしっかりと働きかけたい。

問 町の経済について

町の民間企業・産業・経済について、企業や事業拡大等に対し一歩進んだ協力を町としてやるべきではないか。

答 今後も地域企業をサポートしていきたい

町長　平成23年度中に町の企業においても売上げや受注減少で収益悪化等により24社の企業が廃業されている。町としては、3年前からふるさと雇用再生特別基金事業を実施している。また、今年度より能登町産業育成活性化支援事業を新規に創設したことや町独自の雇用促進緊急助成金、労働保険緊急助成金制度を行ない、元気で活力ある能登町になるよう今後も地域企業をサポートしていきたいと考えている。

問 志賀原子力発電所防災対策について

県民の避難受入について。30㎞圏内が立入禁止になった場合の対策は。また、安定ヨウ素剤の備蓄は。輪島市のガレキ受け入れについては。

答 安定ヨウ素剤の備蓄を検討していきたい

町長　本町の受け入れについては、1万4300人の割り振り案が提案され、町として了承した。

30㎞圏内が立入禁止になった場合については、県の方では孤立化対策を図るとしており、奥能登が陸の孤島となるような事態は避けられると考えている。

安定ヨウ素剤については備蓄を検討する。

輪島市のガレキ受け入れは、近隣市町の住民に不安を抱かせないよう情報を公開して、適切に進めていただきたい。

鶴野幸一郎　議員

問 町職員の再任用制度に疑問

退職後の職員再任用は、生活面を考慮してのことか。それとも行政上の何か課題があってのことか。

本年、課長級退職者7人のうち3人だけを再任用したが、残り4人とを区別した理由は何か。また、全ての退職予定者に意向調査したのか。

平成17年以降の勧奨制度により百数十名の職員が退職されているが、その一方で再任用として、一部に残留組を作るのは矛盾していないか。財政的にも定数上も余裕があるなら新規採用を増やす方が町の活力になると思うが。また、再任者には賞与・退職金制度はあるのか。

答 定年した職員の知識経験を活用する制度

町長　再任用制度は、定年退職した職員の知識経験を再活用してもらうとともに年金支給年齢までの空白期間を埋めるための制度でもあるので本年より勧奨制度は行なわない。

再任のための意向調査は行なっていない。

定年適正化計画は順調に進捗している。新規採用は、計画に添って採用している。

総務課長　再任用職員に賞与はあるが、退職金はない。

※6月定例会閉会後、7月18日に開かれた議員全員協議会の場で、職員の再任用制度の運用の修正について報告があった。

問 能都中移転後の廃校舎は災害避難所のため必要では

能都中移転跡の廃校舎は、原発事故・津波災害などがあったりした場合の一時避難に必要ではないか。少なくとも本庁舎の耐震審査後に本格工事の必要なしと判断された後でも取り壊しは遅くないと思うが。

答 能都中解体工事は交付金対象事業である

町長　現校舎は耐震診断の結果、耐震性の問題が認められて現在新築している。旧校舎・体育館の解体工事も交付金対象事業であり、能都庁舎の代替になるという施設ではないと考えている。

工事が進められている能都中学校

河田信彰　議員

問 町営住宅の建替え計画と運営計画は

本町が所有する町営住宅の団地及び戸数は、県内でトップクラスの所有数である。今後の建替え計画や町の規模に見合った団地の集約と管理運営が必要ではないか。

また、町営住宅における高齢者の一人暮らし対策や孤独死などの予防策は。

答 安心して暮らせるような住環境づくり

町長　居住性や利便性も考慮しながらワンルームタイプの住宅など、多様化するニーズに応じた住宅整備を進めていく。高齢者が孤立化しないように地域コミュニティーで支える見守り体制やひまわりネットワークも強化していく。

問 国立歴博でのあばれ祭の常設展示の中身は

平成25年3月に国立歴史民俗博物館で常備展示が決定している宇出津のあばれ祭について、展示するキリコや神輿の状況やその展示内容は。

夏の間は基幹展示から外すという話も聞こえるが、町を代表する県指定の無形文化財である祭りであり町としても協力して欲しい。

答 通年の常設展示にむけ協議していく

ふるさと振興課長　国立歴史民俗博物館から平成25年より常設展示の決定があった。常設展示支援実行委員会が主体となって、昨年度までに使用した神輿、キリコの部品、鳴り物などの搬入が完了している。内容については、神輿と縮尺されたキリコの展示や祭りビデオの放映と聞いている。神輿は防疫学の観点から夏場は基幹展示せずハッピを飾ると実行委員会が連絡を受けたと聞いている。

町長　展示出来ない期間には壊れる前の神輿を展示したいなど実行委員会からの要望がある。そういった要望を伺いながら協議して対応していく。

国立歴史民俗博物館に搬入された神輿

いまなお残る 地震の爪痕

東日本大震災から1年3ヶ月。全国で、防災・減災が叫ばれている中、東北地方の復興状況やその後の取組を参考とさせてもらうため、6月21日から24日にかけ、能登町議会として議員全員による東北視察研修を行なった。

「6メートルの津波が来ます。避難して下さい。」、「6メートルの津波が・・・」、ここで途切れた遠藤未希さんの落ち着いた聞き取りやすい、あの呼び掛けが今も木霊して聞こえてくるような気がする宮城県南三陸町の防災対策庁舎跡。

本当にここに町が広がっていたことが信じられない荒涼とした風景の中に3階建ての赤い鉄骨本体だけが無残な姿で立ち尽くしていました。この2階で放送していた声は海岸にいた両親にもしっかり届いたそうです。9月に予定されていた結婚披露宴に向け嬉しそうに準備していた未希さんは、誠実な人柄のとおり最後まで忠実に職務を果たされました。

庁舎に残っていた職員30人のうち助かったのは10人だけ。高台の高校に避難していた人達から、津波にのみ込まれる職員の姿が見えて悔しかったと涙ながらに伝えられたそうです。

私達がいたその間も、たくさんの人がこの庁舎跡を訪ねて来られ、黙祷、献花、焼香をされていました。

飾られた遺留品の中に野球のアンダーシャツがあるのでボランティアガイドの方に訪ねると、「実は、もう一人未希さんと交替で放送していた三浦さんという男性職員もいたんです。三浦さんは、学童野球の指導者をしていたので、子供達か保護者の方がアンダーシャツをここに置いて三浦さんの帰りを待っているんです。残念ながら三浦さんはまだ見つかっておりません。」と話されました。

町は人口約1万7千人。半数に近い8千人が被害にあわれたとのことです。

・

約50㎞の海岸線を有する能登町。昨年もボラン

宮城県亘理町での研修会　撮影場所：宮城県亘理町役場仮設庁舎

ティアの自主参加、常任委員会ごとの視察、町の海洋深層水などの救援物資支援のみならず個人的にもたくさんの応援がありました。

町は今年度、新たに「危機管理室」を設置。これを機により災害に強い町づくりをすべく担当職員も同行し、被災地を訪ね研修をしてきました。

前述した南三陸町や東松島市、石巻市等・・・。そして全国町村会からの被災地応援要請に応えた当町職員の平茂之主査、山口竜次郎主査が勤務する宮城県亘理町を訪問しました。

ここでは、町長と幹部職員、議会からは正副議長の出席をいただき、研修会が開催されました。

亘理町の概要としては、震災時の人口が約3万5千人。人的被害としては305人の犠牲者で、行方不明者はゼロ。住宅被害、産業被害、公共施設等の被害、その総額は3300億円を超えるが、隣接する山元町と比べると、町境いから極端にその違いが判別できるぐらい亘理町の復興は進展していると感じました。

この要点は、一つには日頃の防災意識の高さと避難訓練等の実施。もう一点は災害対策本部が地震発生から4分後には設置され、当日のうちに県に自衛隊の出動要請をするなど、着実・迅速な初動体制の確立。この2点に集約されていると受け止めました。

行方不明者がゼロなのも自衛隊では身元確認が遅れるからと、地元の非常備の消防分団員との連携の成果であったとのことでありました。

今、地球環境が変わったのか地震、津波だけではなくゲリラ豪雨、台風、大雪、高潮等自然災害は多岐に渡っています。私たちは愛する家族を、大好きなこの町を守ることに最大限の努力を誓い視察報告といたします。

（広報編集委員　鍛治谷員一）

被災した防災対策庁舎
（撮影場所：宮城県南三陸町）

能登町から宮城県亘理町へ出向している職員（写真右から山口主査・平主査）

地元ボランティアガイドの説明　撮影場所：宮城県石巻市

議案をチェック

問 鶴野幸一郎議員
今年度より収納対策室を廃止したが、なぜ廃止したのか。また、滞納に関する収納状況は。

答 町長
これまで収納対策室で行なっていた業務を強化するため税務課全員で行なうこととした。

答 税務課長
個人町民税や固定資産税等で、平成23年度は約6061万円収納している。平成22年度は約5441万円で12%増となっている。

問 大谷内義一議員
毎年6月定例会には専決処分が上程されるが、専決処分の件数が多い。少なくするよう努力しているのか。

答 総務課長
予算議案では、国庫補助金等の額の確定がどうしても3月末日となる。一般議案では国の法律の制定が3月30日であった。執行部として、議会を開くいとまがなく、緊急を要したものに限って専決処分を行なっていくようにしたいと考えている。

問 向峠茂人議員
町廃棄物処理及び清掃に関する条例の一部改正について説明を。

答 環境対策課長
地域主権一括法により、町で条例整備をすることとなった。一般廃棄物処理施設に技術管理者をおくことなどを条例に盛り込むためのもの。

問 新平悠紀夫議員
防犯灯省エネ対策事業で約806万円が補正されているが、この額で要望に応えられるか。
また、移転改築される能都中学校の通学路となるトンネルは暗く、防犯の観点から対策を。

答 総務課長
当初予算と追加補正分を合わせ500基分を見込んでいる。今回の補正で足りると考えている。

答 町長
監視システム等整備を考えている。2学期に間に合うよう協議をし、万全の体制を整えたい。

問 椿原安弘議員
平成23年度の一般会計、水道事業会計、病院事業会計の決算見込みは。
また、収納対策室廃止について、農業関係等の負担金の徴収は各課対応か。

答 会計管理者
一般会計の決算見込みは、歳入で約160億1300万円。歳出で約157億3400万円である。

答 上下水道課長
収益的収支で、歳入約3億8446万円。歳出で約3億7972万円。黒字の主な要因は町からの補助金である。資本的収支では、歳入が約1億2907万円。歳出で約1億8309万円。収支の不足額は、損益留保資金にて補填を行なった。

答 宇出津総合病院事務局長
歳入が約22億7159万円。歳出が約22億5053万円。約2106万円の純利益となる見込みである。

答 税務課長
各課と連携を取りながら収納に努めていく。

問 市濱等議員
水道料値上げに関する広報等で人口の減少や節水等で収益が減ったと説明があった。誤解を招くような説明ではないか。

答 上下水道課長
町広報や検針時にチラシの配布等で対応した。説明内容については、収益減の原因について記載したものであり、節水が悪いという意味ではない。

問 志幸松栄議員
専決処分で放射能測定器購入費が予算化されているのか。

答 総務課長
防災総務費で、簡易トイレ等防災備蓄品購入費として計上した。線量計については、その予算の中に含まれている。

問 宮田勝三議員
自主防災組織リーダー育成事業について、補助金等はあるが高齢者の多い地区ではリーダー育成といっても難しいのではないか。行政側として後押しなどをどのように考えているか。

答 総務課長
町としては、防災士の育成などあくまでも自らの知恵や知識、技能を養って欲しいということで補助制度を設けた。この補助制度は、3年間助成するものである。

『議会議案』

●発委第3号
「国の教育予算の拡充を求める意見書の提出について」

●発議第4号
「緊急事態に対応する必要な法整備を求める意見書の提出について」

以上2件を議会議案として、6月14日に追加提出され、原案のとおり可決されました。
可決された意見書は議会閉会後、関係機関に提出した。

総務委員会

向峠茂人（委員長）　國盛孝昭（副委員長）
椿原安弘・奥成壮三郎
宮田勝三・鍛治谷眞一

6月6日に委員会を開催し、付託された報告4件・議案3件・陳情1件を審議。全会一致で承認・可決・採択すべきものと決定した。

審査過程での主な質疑応答などは次のとおり。

●緊急防災事業

問 過疎地域自立支援事業の追加内容を示せ。

答 過疎債のソフト枠で、比較的耐久性のある防災備蓄品を整備する事業。具体的には簡易トイレや組み立て用間仕切り、救急セット、そして線量計などを予定している。

●自主防災組織リーダー育成講座

問 当初予算の募集枠20人よりも増えたのか。

答 全部で28人の応募があり予算を追加。内訳は役場職員10人。女性防火クラブ3人。小木中教師とPTAで4人。消防団10人。民間企業1人。5年間で150人を目標に育成したい。

●集会場建設

問 集会場の建設基準は。

答 建設基準の内規を作成した。まず建設可能な用地を自治会等が町に寄付した場合は、町が建設することができる。造成が必要な場合は自治会等が造成費を負担。建築本体電気設備・機械設備の必要最小限の工事を行なう。外構工事、備品等は自治会等が行なう。建築面積の上限は165㎡（50坪）調理施設、玄関、廊下等の細部はおおよその基準だけを求め説明は省略。基準外工事、特別な附帯設備工事については、町が必要と認める場合は調整可能だが、その工事費は自治会等が全額負担しなければならない。

教育民生委員会

南　正晴（委員長）　市濱　等（副委員長）
金七祐太郎・久田良平
新平悠紀夫・大谷内義一

6月6日・13日に委員会を開催し、付託された報告5件・議案9件・請願2件を審議。請願第3号「文化施設の建設について」を継続審査とし、その他の議案については、全会一致で承認・可決・採択すべきものと決定した。13日には、管内視察を実施した。

審査過程での主な質疑応答などは次のとおり。

●専決処分

問 毎年6月定例会は、専決処分の額が多い。事前に臨時議会開催で改善できないか。

答 臨時議会を開けば、専決処分の額は減るが、例年日程等物理的に困難である。

●外国人登録法の廃止等

問 住民基本台帳法に載せて、帰化とか、選挙権には触れないか。

答 住民基本台帳法が適用されるが、帰化とは無関係である。転入転出手続きのみである。従来外国人婚姻者は外国人登録法での管理だったが、改正により同じ住民基本台帳に載ることになるので分りやすくなる。

●児童の通学について

問 最寄のバス停まで2㎞程度歩く児童がいる。

答 町全域を調査し、現状の予算の枠内で対応が可能か精査し、該当者と協議する。

●請願第3号　文化施設の建設について

協会側がどのような規模のものをというような具体的な提案がされていない。次回定例会までに協会の意見を聞くということで継続審査とした。

産業建設委員会

酒元法子（委員長）　小路政敏（副委員長）
河田信彰・志幸松栄
山岸昭夫・鶴野幸一郎

6月6日に委員会を開催し、付託された報告4件・議案2件を審議し、全会一致で承認・可決すべきものとした。

審査過程での主な質疑応答などは次のとおり。

●農業振興費

問 能登棚田保全活動協議会とは。

答 世界農業遺産の認定を契機とし、棚田米のブランド化を推進するものであり、奥能登管内の2市2町、4つのJA、全農、県で構成されている。

●地域農業マスタープラン

問 地域農業マスタープランとは。

答 通称を「人・農地プラン」といい、高齢化に伴う担い手模索や、耕作放棄地を解消するためのプラン。プランがあれば青年就農給付金や農地集積協力金が受けられる。

●林業費

問 林業専用道とは何か。

答 間伐した木材を搬出するための道。従来あった作業路よりも若干グレードが高い。木住から本木地内にまたがる約1㎞を計上。

●道整備交付金

問 斉和1号線はどこか。

答 中斉にある行き止まり地区で、通称谷内村という地区があり、現道2・7㎞と鶴町から桜峠を繋ぐ町道1級当目鶴町1号線を繋ぐもの。完成予定は平成27年度。

●水道料金

問 値上げの説明は。

答 4月に町広報、5月検針時にチラシ等で告知。問い合わせは6件あった。管の老朽化が進み、漏水等も多く、老朽管の更新の必要性を説明した。

4月から6月の主な議会活動

4月5日　交通安全出発式　入学式（小中学校）
4月9日　能登高校入学式
4月25日　議会運営委員会　能登杜氏自醸清酒品評会
5月9日　輪島人権擁護委員協議会定時総会
5月11日　県町村議会議長会定期総会・表彰式
5月12日　町文化協会総会　町商工会通常総会
5月14日　町観光協会総会
5月16日　杜氏組合能登町支部きき酒表彰式
5月18日　海洋深層水協議会総会　交通安全協会表彰式
5月21日　議会運営委員会　町会区長会連合会総会
5月27日　能都ロータリークラブ45周年記念式典
5月28日　全国町村議会議長・副議長研修会　能越自動車道協議会
6月1日　全員協議会
6月2日　中三郎氏黄綬褒章受章記念祝賀会
6月3日　内浦一周駅伝競走大会
6月6日　第2回議会定例会開会　各常任委員会
6月7日　平成24年度能登空港利用促進同盟会監査
6月8日　能登地区町議会連絡会総会
6月10日　山田憲昭氏石川県議会議長就任祝賀会
6月11日　第2回議会定例会一般質問
6月12日　能登空港利用促進議員連盟総会
6月14日　第2回議会定例会閉会
6月16日　消防団訓練大会　宮下正博氏石川県議会副議長就任祝賀会
6月20日　老人クラブ連合会グラウンドゴルフ大会　新町通り「梶川橋」完成式典
6月21日　東北地方視察研修（24日まで）
6月26日　能登空港利用促進能登町協議会総会　納税貯蓄組合総会
6月29日　議会運営委員会

次の定例会は９月です

議会の日程については、決定しだい町のホームページ、または有線テレビでお知らせしていますので、ぜひ傍聴にお越しください。ご意見などありましたら、下記事務局へご連絡ください。

編集後記

涼風の欲しいこのごろ、みなさんはどのように「涼」をとっておられますか。

さて、今号でもお伝えしておりますが、東北視察研修に参加してきました。

東日本大震災、九州地方を襲った豪雨災害など近年起こっている大きな災害には、個人の備えはもとより、行政と地域の強い結束が必要だと肌で感じてきました。

今回の研修での経験を町の防災対策に活かせるよう夏よりも熱く頑張っていきたいと思います。

広報編集特別委員会
委員長　國盛孝昭

広報編集特別委員会

委　員　長　國盛　孝昭
副委員長　金七祐太郎
委　　員　市濱　等
　　小路　政敏
　　山岸　昭夫
　　鍛治谷眞一

発行：能登町議会　編集：能登町議会広報編集特別委員会
〒928-0312　石川県鳳珠郡能登町字上町８字485番地
ＴＥＬ（0768)76-8310　ＦＡＸ（0768）76-2151